

社内知見検索システムを活用した 大規模言語モデル導入支援サービス - ABeam LLM Partner

社内文書に基づく回答生成技術を活用した大規模言語モデルシステムの導入、および、運用を通じて組織全体の生産性向上を支援

ChatGPT (OpenAI 社) の登場以降、企業のAI利活用の在り方は大きく変化しています。従来のように特定の定常的な業務をAIに代替させるだけでなく、非定常的な業務もAIに支援させるべく、大規模言語モデル (以下、LLM) の導入が進められています。しかし、通常の大規模言語モデルは翻訳や要約等の汎用的なタスクでは力を発揮するものの、社内事情を加味した業務をこなすことは難しく、十分な導入効果が得られていないのが現状です。アビームコンサルティングは、検索によって生成機能を強化する技術 (RAG: Retrieval-Augmented Generation) を活用したLLMシステム (ABeam LLM Partner) で、社内事情を加味した業務を実行するAIを構築します。これにより、社内文書の効率的な業務活用を促進し、組織全体の生産性向上に寄与します。

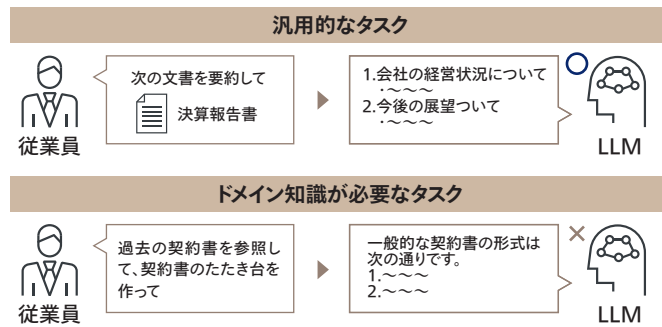
企業の業務におけるLLMの活用を阻害する要因

一般に、LLMの学習データには、特定の組織や業界の内部情報を含んでいないため、社内文書のような特定のドメインに関連する質問に回答を正しく生成することができません。

従来のLLMシステムで上手くいかないケース

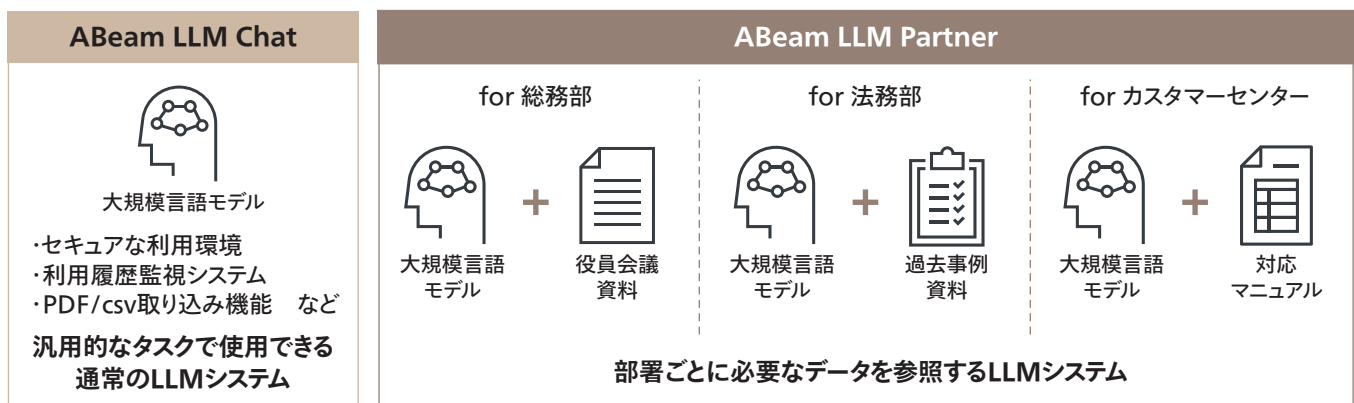
- ・過去の契約書を参考にした契約書のたたき台の作成
- ・社内の資料を引用した稟議書のたたき台の作成
- ・社内マニュアルに則ったお客様対応

そのため、上記のようなユースケースでは、適切な回答を返すことができず、十分な導入効果が得られていないのが現状です。



ABeam LLM Partnerシステムの概要と特徴

ABeam LLM Partner システムとは、各部署の業務に必要な情報をインプットした上で回答を生成するLLMシステムです。従来のLLMシステムと異なり、各部署で自身のニーズに合わせたカスタムデータベースを構築し、それぞれが最適な大規模言語モデル環境を使用できるため、専門的な情報へのアクセス、テキスト生成、知識の共有などが迅速かつ効率的に行えます。質問応答、自動要約、文章生成などのタスクにも対応しており、組織全体の生産性向上に貢献します。

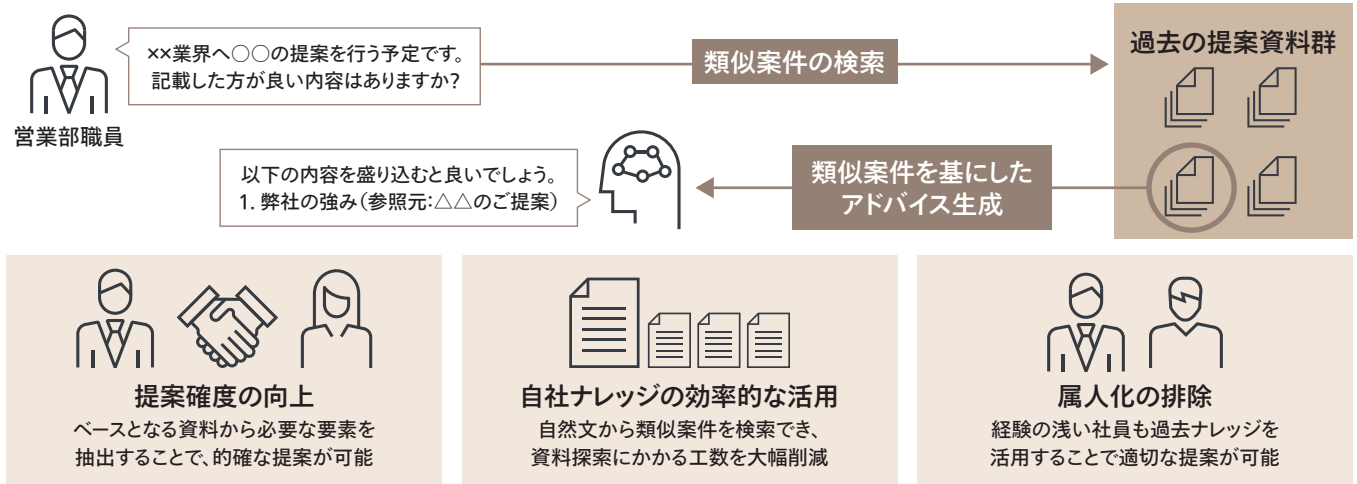


ABeam LLM Partner システムは、従来型のLLMシステムと比較し、シームレスな専門知へのアクセスが可能という特徴の他にも、出典を明示した上での情報提供が可能であるという特徴や、データ更新によって最新の情報にアクセスさせることが可能であるという特徴があります。

特徴1	● 社内の専門知にアクセスが可能 専門知識へのシームレスなアクセスを実現し、組織の専門性を最大限に引き出します。
特徴2	● 高い検証可能性 各情報源が明示的であり、取得された情報の根拠やソースが確認可能なため、情報の信頼性を担保できます。
特徴3	● 最新の情報にアクセス可能 リアルタイムまたは定期的な情報のアップデートを迅速に反映でき、常に最新のデータへのアクセスを確保できます。

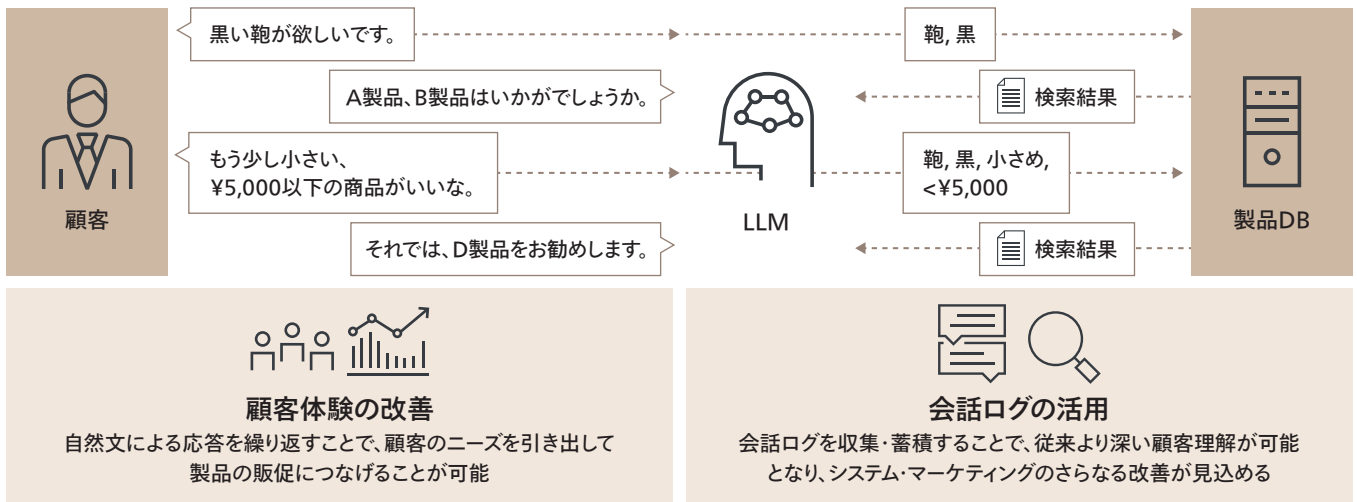
ABeam LLM Partnerシステムの活用事例 | ①過去提案資料を参照する営業アシスタント

過去の提案資料から類似の案件を抽出し、複数の提案資料から示唆を抽出してアドバイスを生成するシステムです。専門知へのシームレスなアクセスにより、営業活動の高度化や属人化の排除を実現します。



ABeam LLM Partnerシステムの活用事例 | ②社内製品DBと連携するレコメンドシステム

自然文の問い合わせ内容に応じて製品DBを検索し、顧客の望む最適な製品をレコメンドするシステムです。最新の製品DBにアクセスし、自然文で顧客のニーズを引き出して最適な商品提案を行います。



ABeam LLM Partnerの導入までの流れ

LLMシステムの活用方法の検討や導入効果の検証には、LLMの性能と限界に関する知見の共有、適切な方法での精度検証が課題となります。アビームコンサルティングでは、双方向のディスカッションを通じてLLMの知見や各部署のニーズを共有した上で活用方法を検討し、試用期間を通じて精度検証と改善が可能です。加えて、アナログ情報のデジタル化支援や、ユーザー向けトレーニングも提供可能です。

導入スケジュールの例

※PoCと本格導入準備を並行して実施する場合を想定しています。
※本格導入を前提とせず、PoCのみの実施も可能です。

